

## 1. 研究主題

# 「学び合う力を育てるために」

## ～算数科を中心に～

## 2. 主題設定の理由

### (社会の状況から)

OECD の国際学力調査 (PISA) における 2000 年, 2003 年の結果から読解力向上の必要性が教育現場に求められている。国際統一の読解テストで問われたのは, 主としてグローバル・コミュニケーション力の有無であった。それは, 相手を問わず自分の言いたいことを理解させる能力である。そして, 相手を問わず, その言うことを理解する能力を意味する。「分かりきっていることを, もう一度きちんと言葉にして説明する」力を全ての教科を通して育て, 高めていかなければならないのである。

### (児童や学校の実態から)

本校の子どもたちは, 豊かな自然の中, 少人数でいろいろな体験や経験を積みながら, のびのびと育っている。地域の教育に対する熱意もあり, 基本的な力は概ね身につけてきている。子どもたちは掃除や給食などの日常活動を始め, 行事においても学年の枠を超え縦割りで活動する場が多く, 協力したり下の子に教えたりするという姿勢が自然と身につけている。同じ学年やクラスの中でも, 仲良く協力しながら学習できている。

しかし, 子どもたちは自分なりの考えを持てるようになってきてはいるが, 自分たちで課題解決していく力が弱いと思われる。また, 数年前から複式学級が入っているが, 今年は特に4つの学年2クラスが複式学級となる。これからの複式授業のことを考えると, 少しでも自分たちで学び合う力をつけることが大切である。

### (これまでの研究から)

昨年度は, 研究主題として“子どもが力をつける授業の創造”をめざし, 算数科を通して研究を進めた。その中では, 特に学習意欲を引き出し, 考える力をつけることに重点をおいた。さまざまな工夫や手だてにより, 自力解決の場では多様な考え方をしたり, 図や言葉で考えを表わしたりできるようになってきた。また, 自分の考えを友達にわかりやすく伝えようとする意識も高まり, 話す力もついてきた。

しかし, それぞれの意見を出し合うところまではいくのだが, それらの意見を話し合いの中で練り上げながら, 共通する考え方をみつけていくことがなかなかできないのが実情である。このことから, 一昨年度からの課題である“話し合いを深める”という点について継続して取り組んでいく必要性があると考えた。

### (今年度の研究は)

そこで, 今年度は“話し合う力”を深め“学び合う力”を育てることに重点をおき研究を進めることにした。私たちは, 学び合う力を身につけている集団の姿として, 友達と意見を交えながら新しいきまりを発見したり, 自分の考えを図や式で友達に伝えていく過程で, 気づきが生まれたり, より深い理解へとつながっていったりする, と捉えた。算数的活動を通して気がついたことを友達にわかりやすく表現しようとするときにこそ, 私たちが育てたい算数的表現が身につけていく。そのときに子どもたちの語り初めの表現に価値づけしていけば, 図を使って説明したり簡単な場合に置き換えて話したり, 例をあげて説明したりするときに, 「例えば…」「もしも…」「だったら…」という表現を使って説明しようとする姿の中に学び合う力が見られるようになっていくと考えた。

また, 授業における主体性を培うためにも授業内容に直結している家庭学習のあり方を検討していき, 発達段階に応じて取り組んでいける視点を明らかにしていきたいと考えた。

### 3. 研究内容

(1) “学び合う力”を育てるための授業について考え、実践する。

学習意欲がわく問題提示、算数的表現によるコミュニケーション

学び合いでの教師の支援のあり方 評価と個に応じた指導 等

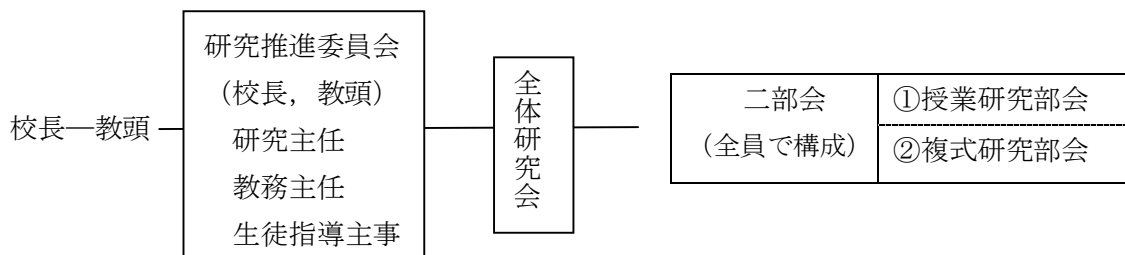
(2) 複式授業のあり方について考えたり、研修したりする。

リーダーの育成、ペア・グループ学習による対話

直接指導と間接指導での支援のあり方 ノート作りによる思考整理のあり方 等

### 4. 研究の体制と進め方

- ・二部会（授業研究部会・複式研究部会）で研究を進める。
- ・二部会はそれぞれの担当内容の提案を行い、全体研究会で検討し共通理解のもと各自実践を積み重ねる。
- ・研究推進委員会は、基本的に月1回、主任会議と合わせて行う。
- ・全体研究会は、基本的に月1回第1水曜日（できない場合は、火曜日）に設ける。ただし、研究授業がある月は、事前検討会と授業整理会の2回行い、期日はできるだけ授業者の意向を優先して決める。（月の予定に入れる。）
- ・研究部会は全体研究会の1週間前の木曜日から金曜日に関き、研修を行ったり、全体研究会での提案内容を検討したりする。
- ・全員が研究授業を1回行い、その際には事前検討会と授業整理会をもつ。



※研究推進委員会… 学校研究全体の計画、立案、推進、反省  
研究授業の計画、推進、反省  
基礎学力調査の分析と指導改善の提案、推進  
その他研修計画、推進

※各部会 下記の内容について考え、実践する。

①授業研究部会…研究内容の(1)について

②複式研究部会…研究内容の(2)について

### ※研究の検証方法とその生かし方について

<検証方法>

主観ばかりでなく、できるだけ客観的な検証方法を取り入れるようにする。

(1) 何を検証するか…つけたい力がついたか：学び合う力がついたか？

めざす姿になったか：◎お互いに教え合う姿

◎「わかった」「できた」「よかった」と共に喜ぶ姿

◎友だちと共に学びを深めようとする姿

(2) どんな方法で……①授業での様子観察 ②授業でのふり返り ③授業での小テスト

④意識調査 ⑤最終テスト ⑥児童による意識アンケート調査

⑦外部評価（保護者・学校評議員・地域の方々）

<生かし方>

(1) 日々の授業改善に生かす (2) 来年度の研究に生かす

研究構想図

